



2010 全日本ヨットマッチレース選手権大会 ・イン ・葉山

2010 All Japan Yacht Match-Race Championship in Hayama

2010 年 11 月 20-23 日

20-23 Nov., 2010

NOTICE OF RACE (ver. 1.0)

1 主催団体

本大会は日本ヨットマッチレース協会 (JYMA) が主催する。
また、財団法人日本セーリング連盟 (JSAF) の公認全日本大会である。

本大会は以下の団体、企業の後援・協力の下に行われる。

- ・葉山マリーナヨットクラブ (HMYC)
- ・株式会社葉山マリーナー
- ・ニッポン・セイル・トレーニング (NST)

2 開催地

開催地は神奈川県葉山町である。(レース本部は葉山新港 3F 会議室に設けられる。)

3 イベントグレーディング

本大会は ISAF グレード3 として申請している。

このグレーディングは ISAF Match Race Rankings Sub Committee による再検討の課題となる。明確な理由がある場合、本大会のグレードは変更されることがある。

また、本大会は JYMA イベントグレード係数 2.0 の大会である。

4 予定プログラム

4.1 毎日の予定

11 月 20 日(土)

- 09:00 レース本部オープン
- 09:05-10:00 受付&体重測定
- 10:00-10:40 最初の艇長会議/アンパイア・スキッパー・ミーティング
- 10:50 レース艇ドックアウト
- 11:20 最初の注意信号発令
- 17:00-18:00 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング、艇長会議

11 月 21 日(日)

- 08:00-08:10 艇長会議
- 08:20 レース艇ドックアウト
- 9:00 最初のマッチの注意信号発令
- 17:00-18:00 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング、艇長会議
- 18:30-21:00 レセプション (菊水亭 参加費 1 人 3,000 円)



11月22日(月)

- 08:00-08:10 艇長会議
- 08:20 レース艇ドックアウト
- 09:00 最初のマッチの注意信号発令
- 17:00-18:00 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング、艇長会議

11月23日(火 祝)

- 08:00-08:10 艇長会議
- 08:20 レース艇ドックアウト
- 09:00 最初のマッチの注意信号発令
- 15:30-16:00 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング
- 16:00-16:30 表彰式
- 17:00 レース本部クローズ

4.2 OA により許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。

- (a) スキッパーは最初のブリーフィング。
- (b) スキッパーは毎日のブリーフィング。
- (c) スキッパーとクルーはオフィシャル・レセプション。
- (d) ファイナルに進んだスキッパーとクルーは、表彰式。

4.3 大会の中止

本大会は天候等の事情により中止されることがある。中止された場合の通知方法、参加料の取り扱いは以下の通りとする。

- 11月18日以前に中止が決定された場合/HP に中止を公示するとともに各スキッパーへ個別に通知する。参加料は少なくとも80%を返却する。
- 11月19日に中止が決定された場合/各スキッパーへ個別に通知する。参加料は少なくとも50%を返却する。
- 11月20日以降に中止が決定された場合/参加料の返却はしない。

5. スキッパーの参加資格

- (a) 12名のスキッパーが招待される。OA により招待されたスキッパーのみが本大会に参加する資格がある。招待基準は以下の通りである。
 - ・下記国内予選で選出された7名のスキッパー
 - くるるマッチ1名、二宮杯1名、南波メモリアル マッチ1名、全日本女子マッチ1名、NST-MR シリーズ2名、関西 MR シリーズ1名
 - ・HMYC 代表の1名のスキッパー。
 - ・10年10月1日時点の JYMA ランキング上位3名のスキッパー。
 - ・JYMA 会長の推薦するスキッパー1名。
- (b) 登録されたスキッパーは非常の場合を除き、レース中は常に艇の舵をとっていなければならない。
- (c) 参加資格を留保するために、スキッパーは招待の受け入れを書面によって (fax もしくは e-メールも可) 招待状に記載された期日までに確認 (返信) をしなければならない。
- (d) すべての競技者は、ISAF レギュレーション 19.2 の参加資格の要請に適合していなければならない。
- (e) すべてのスキッパーは、ISAF セイラーID を取得しなければならない。これは www.sailing.org/isafsailor から無料でオンライン登録できる。スキッパーは受付のときに ISAF セイラーID を OA に示さなければならない。
- (f) スキッパーは10年度 JYMA スキッパー会員もしくはユース会員でなければならない。
- (g) クルーは10年度スキッパー会員、クルー会員もしくはユース会員でなければならない。
- (h) 日本国籍を有する未成年者 (11月20日時点で満20歳未満の者) は、保護者の同意書 (別書式) を受付時に提出しなければならない。

6. 参加

6.1 スキッパーは、受付登録、体重測定、すべての費用とデポジットの支払を完了することにより本大会に参加する。すべての支払は日本円で行わなければならない。



6.2 参加料、レセプション費

参加料 100,000 円は、2010 年 11 月 12 日までに下記銀行口座に振込まなければならない。

三菱東京 UFJ 銀行 南藤沢支店 (732) 普通 0023391 名義 日本ヨットマッチレース協会

レセプション費 1 人 3,000 円は予定乗員人数分を参加料とともに振り込んでください。追加人数が出た場合は当日支払いも受け付けます。

6.3 ダメージ デポジット

- 最初のダメージ デポジット 20,000 円は参加料とともに支払わなければならない。このデポジット額は、1 事故の結果、スキッパーが支払わなければならない最大額ではない。ただし、本 No R、もしくは S にて別段の定めがある場合はその規定が優先するものとする。
- OA の決定によりダメージ デポジットから差引が行われた場合、ダメージ デポジットが元の金額まで充当回復されなければ、スキッパーはレースを続けることを許されないことがある。
- ダメージ デポジットが充当されるダメージ、およびその他の損害賠償については 16 項によるものとする。
- ダメージ デポジットの残額は、遅くとも大会終了後 3 週間以内に返却される。

7. ルール

- 本大会は RRS(2009-2012)に定義されたルールによって行われる。これにはアペンディックス C も含まれる。
- SI のハンドリング・オブ・ボートのルールも適用される。これはすべての練習中にも適用される。クラス・ルールは適用しない。
- ナショナル・オーソリティー規定は適用しない。

8. ボートとセイル

- 本大会はヤマハ 30 S クラス艇で行われる。
- 6 艇のボートが用意される。
- 以下のセイルが各艇に支給される。メインセイル、ジブ、スピナーカー。
- ボートの割り当ては RC の決定によって、原則として毎日およびステージごとに抽選によって割り当てられる。

9. 乗員 (スキッパーを含む)

- 1 チームに登録できる乗員は最大 6 名である。
- (c)項で規定された制限体重以内であればクルーは交替することができる。ただし、全乗員数は第 1 レースに乗艇した人数より多くても少なくともいけぬ。また、クルーの交替は事前に RC の了解を得なければならず、交替に要する時間はスタート延期要請の対象とはならない (RRS60.1 の変更)。
- 乗員の合計体重はレース前に決定されるが 350kg 以内でなければならない。計測は最低限シャツとショーツを着用した状態で行われる。
- 登録されたスキッパーが大会を継続することができなくなったとき、OA はオリジナル・クルーメンバーから交代を認めることができる。
- 登録されたクルーが大会を継続することができなくなったとき、OA は交代選手、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。

10. イベント・フォーマット

予選ステージ、セミファイナル、ファイナルの 3 ステージが予定されている。詳細は SI で公示される。

11. コース

- コースはスターボート回航の風上/風下で、ダウンウインドフィニッシュである。
- コース海面は葉山マリーナの沖合いに設定される。地図参照。

12. 広告

- ボートと装備が主催者によって提供されるので、ISAF レギュレーション 20.3.2 が適用される。各ボートは主催者によって支給される広告を表示することが求められることがある。
- OA は下記の装備を支給し、ISAF レギュレーション 20.3.2 が適用される。OA によって支給された装備にはカテゴリー C の広告が表示される。(未定)
- 競技者は開催地の陸上では個人広告を表示することが許されることがあるが、これは OA との個別交渉による。
- 広告に関するルール違反は、艇による抗議の対象とはならない (RRS60.1 の変更)。



13. 賞

- (a) 上位 3 チームには JYMA 賞が贈られる。
- (b) 上位 4 名のスキッパーは、2011 年春に予定されている「くるアジア・パシフィックマッチ」に招待される。

OA は、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。

14. メディア、映像および音響

OA は TV クルーとその装備 (またはダミー) を、レース中搭載することを求めることができる。また競技者にインタビューに応じることを求めることができる。OA は大会期間中に採集されたすべての映像、音響を無償で使用する権利を有する。

15. 請求の否認

大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。OA、その提携者および OA より任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。

16. 行動基準とダメージの取り扱い基準

16.1 行動基準

- (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力とレース運営の補助を含む、競技役員からのリーズナブルな要求に従わなければならない。また大会の名誉を傷つけるような行動をしてはならない。
- (b) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SI アペンディックス C と D に従わなければならない。
- (c) この NoR に対する違反のペナルティは、PC の裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除、賞および賞金の回収、保証金の保留を含めることができる。

16.2 ダメージの取り扱い基準

16.2.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかんに関わらず当該艇の責任とし、その損失はダメージ デポジットより差し引かれる。

- (a) ウンチハンドル :15,000 円/1 本
- (b) 抗議旗 (Y 旗) 5,000 円/1 本
- (c) 識別旗、B 旗、損傷旗 :各 3,000 円/1 枚

16.2.2 今回使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は 500,000 円である。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある。

16.2.3 帆走指示書アペンディックス C (ハンドリング・オブ・ボーツ) に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。当事者の負担である。

16.2.4 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする (ダメージ デポジットから優先して差し引かれる)。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合 OA は PC のアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。

- (a) 権利艇 非権利艇が特定できる場合
権利艇 2 非権利艇 8
- (b) 権利艇 非権利艇が特定できない場合
当事者間で均等割りとする

16.2.5 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後 30 分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ レポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。

16.2.6 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

17. 招待の申し込み

NoR 5(a)の通り、本大会には 12 名のスキッパーが招待される。会長推薦枠での招待を希望するスキッパーは、添付のインヴィテーション・リクエスト・フォームに必要事項を記載の上、11 月 8 日までに、NoR 18 に記載された実行委員長宛にメールに添付して申し込んでください。

18. 問合せ

伊藝徳雄

E メール igei100@attglobal.net

発行日 2010 年 10 月 27 日

Version 1.0

インフォメーション

(1) 帆走指示書は 2010 年 11 月 8 日までにホームページに公示される。

(2) レース海面 (下图参照)



(3) 招待の申し込み

NoR 5(a)の通り、本大会には 12 名のスキッパーが招待される。会長推薦枠での招待を希望するスキッパーは、添付のインヴィテーション・リクエスト・フォームに必要事項を記載の上、11 月 8 日までに、NoR 18 に記載された実行委員長宛にメールに添付して申し込んでください。

(4) 未成年者の参加

本大会へ参加する未成年者 (2010 年 11 月 1 日時点で満 20 歳に満たない者) は、添付の保護者同意書に必要事項を記載の上、大会受付時(11 月 20 日)に提出してください。